

# 日中和平工作秘史

みようひん

## 繆斌工作は真実だった

太田 茂著 A5判ソフトカバー412頁 本体 2,700円 ISBN978-4-8295-0847-3

「繆斌工作」が実現していれば  
ヒロシマ・ナガサキも  
ソ連の満州・北方領土侵略もなく  
戦争は終結していた！

日中和平工作史上最大の謎であり、今も真偽の論争がある繆斌工作。約400点の文献資料に基づいて、インテリジェンスの手法オシント (open-source intelligence) と、検事として培ってきた「状況証拠を総合する事実認定の手法」で、繆斌工作の真実性を解明・論証する渾身の書。

＊繆斌工作とは

重慶の蒋介石の和平交渉の使者として1945年3月、繆斌が来日。小磯國昭首相、緒方竹虎情報局総裁、東久邇宮稔彦王、石原莞爾らはこれを強く推進しようとしたが、重光葵外相らが「謀略」として徹底的に反対した。最終的に天皇が工作中止の引導を渡した。

繆 斌



蒋介石



緒方竹虎



小磯國昭



東久邇宮稔彦王



石原莞爾



重光 葵

軍部・政府中央のインテリジェンスの絶望のお粗末さを明らかにし、今日に通ずる反省・教訓を提示する！

著者 太田 茂 (おた しげる)

1949年福岡県生まれ。京都大学法学部卒。現在、虎ノ門総合法律事務所弁護士。1977年大阪地検検事に任官後、西日本、東京等各地の地検、法務省官房人事課、刑事局勤務。その間、1986年から3年間北京の日本大使館一等書記官。法務省秘書課長、高知・大阪地・高検各次席検事、長野地検検事正、最高検総務部長を経て、2011年8月京都地検検事正を退官。早稲田大学法科大学院教授、日本大学危機管理理学部教授を8年間務めた。剣道錬士七段。令和2年秋、瑞宝重光章。  
著書：『ゼロ戦特攻隊から刑事へ』『OSS (戦略情報局)の全貌』『日中和平工作秘史』『新考・近衛文麿論』(いずれも芙蓉書房出版)、『実践刑事証拠法』、『応用刑事訴訟法』、『刑事法入門』(いずれも成文堂)

第1章 和平工作の諸相

- 第1 船津工作から銭永銘工作まで
- 第2 戦争末期に試みられた中国との和平工作
- 第3 欧州を舞台とする和平工作

第2章 蒋介石論 蒋介石は日本との和平を求めていた

第3章 アメリカに日本との和平の意思はあった

第4章 繆斌工作は真実だった

- 第1 繆斌工作の概要
- 第2 繆斌工作にかかわった人々
- 第3 戦後の関係者の回想
- 第4 繆斌工作の真実性の検討
- 第5 安江工作と表裏一体だった繆斌工作

11月中旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 10月25日(火) です

FAX 03-3813-4615

**芙蓉書房出版**  
〒113-0033  
東京都文京区本郷3-3-13  
http://www.fuyoshobo.co.jp  
TEL. 03-3813-4466  
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
日中和平工作秘史		
11月新刊 本体 2,700円	部	